

平成28年10月31日

各 位

会 社 名 株式会社JVCケンウッド
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO
辻 孝夫
(コード番号6632 東証第一部)
問合せ先 企業コミュニケーション統括部長
西下 進一郎
(TEL 045-444-5232)

特別損失計上に関するお知らせ

当社は、本日開示いたしました「平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において計上した特別損失のうち、下記の事由による特別損失を合計2,040百万円計上しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容および発生経緯

1) オートモーティブ分野における特別損失

当社は、オートモーティブ分野において、特定顧客向けi-ADAS[※]関連新製品を受注し、開発を行っていましたが、開発コストおよび量産コストが当初見積もり以上に増大し、これまで想定してきた利益について実現できる見込みが低下したと当第2四半期連結会計期間に判断いたしました。そのため、固定資産に計上しておりましたソフトウェア制作費について特別損失として固定資産除却損に787百万円、また受注損失引当金繰入額に711百万円を計上することといたしました。

なお、i-ADAS事業については、全社の成長を牽引するオートモーティブ分野の主力事業のひとつとして、今後も注力・拡大してまいります。

※i-ADAS …当社の商標であり、“革新的先進運転支援システム”の意

2) メディアサービス分野における特別損失

当社は、メディアサービス分野において、業務用の新製品に搭載する部品の開発に関する原版制作費を固定資産計上しておりましたが、当第2四半期連結会計期間になって製品化を中止したため、特別損失として固定資産除却損に541百万円を計上いたしました。

2. 今後の見通し

上記特別損失の発生に伴う当期業績予想の変更はありません。

以 上